



## ◇ 今回は、卒業生の山口莉穂さん（岐阜大学医学部医学科）の報告です。

私は現在、岐阜大学医学部医学科の3年生として医学を学んでいます。2年生までの基礎医学（人体構造学・生理学・組織学など）が終わり、今は臨床医学（循環器・呼吸器・消化器など）を学んでいます。まだまだ臨床医学を学び始めたばかりであるため、ここで具体的な医学の話はしませんが、私の大学生活について皆さんにお伝えしたいと思います。

### ～医学生としての生活～

みなさんは、「医学生は勉強ばかりしている」というイメージを持ってはいませんか。よく言われることではありますが、決してそんなことはありません。確かに、学ぶべきことは膨大だと思います。しかし多くの医学生は、勉強するときは全力で勉強して、遊ぶ時も全力で遊ぶという、メリハリのある生活をしています。私も、勉強・部活・遊び・アルバイトなどを両立させたメリハリのある充実した毎日を送っています。

また、2年生では基礎医学に加えて、チュートリアル選択配属と呼ばれる研究室配属がありました。私は、配属された研究室で「アルツハイマー病」について研究しました。ピーマンやニンジンなどに含まれるある成分が、アルツハイマー病モデルマウスに効果があるのかという研究です。研究を通して、小さな命が医学を支えていること、一つの論文の裏には多くの研究者の途方もない実験の積み重ねがあることを実感することができました。私は、実際に患者さんと接する臨床の道へ進みたいと考えていますが、研究の世界にも触れることができ、とても貴重な経験でした。

### ～今だからこそできることを！～

私は高校時代、医学を学びたい！という強い意志をもって勉強に取り組みました。しかし、大学に入ってみると周りはもちろんみんな医学生。医学を学んでいるという土台は一緒です。私は、その上に何を積み重ねることが大学生活では大切だと思います。それが、自分らしさに繋がっていくのです。もちろん医師になることは簡単なことではありませんし、立派な医師になりたいと思っています。だから、学業を疎かにするつもりはありません。しかし、それだけではない人間になりたい、と強く思っています。だから私は、自分に限界を作らず、

今だからこそできることをやる！

と決め、この2年半の間で様々なことに挑戦してきました。



富士山頂にて。日の出🌄 最高でした！

挑戦したこととして、体力をつける（バドミントン部で週3回活動しています）、オーロラを見る、富士山登頂、徹夜で郡上踊り、京都で修行の旅（坐禅など）、短期カナダ留学などがあります。

中でも最大の挑戦は、観光PRです。え、観光PR？と思われた方も多いと思います。私は小さいころから生まれ育った岐阜が大好きで、岐阜の魅力为全国、世界の人々に伝えたい！と思い続けてきました。そしてこれは、私のもう一つの夢でもあります。その思いが伝わったのか、「ぎ

ふ長良川メイツ」というものに選んでいただき、今年の4月から務めさせていただくことになりました。

メイツとしては、京都での日本遺産サミットや東京ビッグサイトで開催されたツーリズムEXPO ジャパンなど、全国各地で行われている観光展で岐阜の魅力を伝えることが主な活動です。



他にも、東海市長会で東海地方の市長さんとお話をさせていただいたり、多くの新聞社を回らせていただいたりなど様々な形の活動があります。毎回の活動が刺激的でとても貴重な経験です。夢である岐阜の魅力を伝えることだけでなく、活動を通して様々な方々と交流ができ、自分の視野を広げることができています。この活動で学んだことは必ず、これからの私の人生の何かに繋がっていくと確信しています。

任期は2年間！岐阜の魅力を発信中です❀

### ～みなさんに伝えたいこと～

大学生活は、皆さんが思っている以上に無限の可能性があります。そして、その期間をどのように使うかはみなさん次第です。私は高校生の頃から、自分が興味を持っていること、将来なりたい自分についてじっくり考え、膨らませてきました。それが今の大学生活に生きていると思います。みなさんは今、何にでもなることができます。そんな素晴らしい時期に、自分の将来につ



フィンランドにてオーロラと❀。

いてじっくり考えておいてください。

もちろん今の自分に満足しているわけではありません。医学の勉強もまだまだこれからですし、学生のうちに挑戦したいことは他にもたくさんあります。今のこの未熟な状態で、「活躍する卒業生」として紹介していただけることに対して抵抗はあるのですが、何年後か何十年後かに、関高出身の輝く医師として輝く女性として皆さんにメッセージを送れるように、全力で突き進んでいきたいと思います。